

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年7月21日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年7月21日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【1号機 使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)ドレン弁からのシート漏えいについて】 当直員が使用済燃料プール水の定例サンプリング時において、1号機 使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)ドレン弁のシート漏えいを確認。 当該弁の増締めによりシート漏えいは停止。 今後、当該弁の修理を計画。	GⅢ	7月14日
2	【地下水バイパス設備 揚水井(C)のサンドセパレータ他付属配管フランジシート面の腐食について】 協力企業作業員が地下水バイパス設備点検において、地下水バイパス設備揚水井(C)のサンドセパレータ付属配管フランジシート面と地下水バイパス吐出配管のフランジシート面に腐食を確認。 今後、腐食箇所を修理を行う。 地下水の汲み上げには他の地下水バイパス揚水井が運用中であり、影響なし。	GⅢ	7月15日
3	【6号機 残留熱除去海水系ポンプ(B)自動排出弁本体のフランジ部からの滴下について】 当直員が残留熱除去海水系ポンプ(B)の運転中に、当該ポンプの自動排出弁本体のフランジ部から滴下を確認。 当該ポンプを停止したところ滴下が停止したことを確認。 滴下は微少であり系統機能への影響はなし。 今後、フランジ部の増締めを行う。	GⅢ	7月15日
4	【5号機 非常用ディーゼル発電機(B)の空気冷却器(C)出口給気圧力計元弁不良について】 当社社員が5号機 非常用ディーゼル発電機(B)の負荷運転試験時に、空気冷却器(C)出口給気圧力計の指示が0kPaであることを確認。 調査したところ、当該圧力計の元弁が破損していることを確認。 今後、当該弁の修理または交換を計画。 5号機非常用ディーゼル発電機(B)は、計画点検に伴う非待機中であるため、ディーゼル発電機による非常用電源系統への影響はない。	GⅢ	7月17日
5	【海水放射線モニタ サンプル取水ポンプの異常停止について】 当社社員が海水放射線モニタの遠隔監視端末にて「サンプル取水ポンプ異常停止」警報が発生し、海水放射線モニタの測定が停止したことを確認。 調査したところ、サンプル取水ポンプ制御盤の漏電遮断器が中間位置から動かない状況を確認。 漏電遮断器の故障の可能性も含め、今後調査を行う。 港湾口の海水は毎日採取、測定しており異常がないことを確認している。	GⅢ	7月16日